

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和3年12月1日)

	ページ
1 令和3年度上半期鳥取県への移住者数について	【ふるさと人口政策課】・・・2
2 令和2年度末本県出身大学生等の県内就職状況等について	【ふるさと人口政策課】・・・3
3 令和3年度中山間地域等活性化・移住定住促進協議会の開催結果について	【ふるさと人口政策課】・・・4
4 鳥取砂丘の観光振興、活性化及び保全における鳥取県と鳥取市との連携協約(案)について	【観光戦略課】・・・6
5 鳥取県ポストコロナを見据えた観光振興推進プロジェクトチーム会議の開催結果について	【観光戦略課】・・・9
6 「ととのう とっとり サウナ旅」の推進について	【国際観光誘客課】・・・10
7 海外向け情報発信の最近の主な取組について	【国際観光誘客課】・・・11
8 第25回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの参加結果について	【交流推進課】・・・12
9 まんが王国とっどりの取組について	【まんが王国官房】・・・13
10 倉吉東郷自転車道関係者合同走行会の開催結果について	【中部総合事務所県民福祉局】・・・14

交流人口拡大本部

令和3年度上半期鳥取県への移住者数について

令和3年12月1日
ふるさと人口政策課

令和3年度上半期(4～9月)の鳥取県への移住者数がまとまりましたので報告します。

1 概要

- ・令和3年度上半期の移住者数は、919人となりました。(昨年度上半期に比べ63人増(+7.3%)。新型コロナウイルス感染症の再拡大(第5波)による移動自粛の影響があったものと考えられます。)
- ・今後も「転職を伴わない移住」など、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として広がりつつある新たなライフスタイルの提唱やとっとり暮らしの魅力を発信し、移住者獲得につなげていきます。

2 市町村別移住者数

市町村名	令和3年度上半期 (A)		参考			
			令和2年度上半 期(B)		増減(A - B)	
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
鳥取市	118	193	112	163	6	30
米子市	98	164	68	103	30	61
倉吉市	80	116	106	131	26	15
境港市	78	98	81	101	3	3
岩美町	28	39	28	36	0	3
若桜町	3	3	5	13	2	10
智頭町	5	13	4	8	1	5
八頭町	9	17	22	25	13	8
三朝町	16	25	9	9	7	16
湯梨浜町	31	38	34	42	3	4
琴浦町	52	72	52	67	0	5
北栄町	28	39	30	36	2	3
日吉津村	6	6	9	15	3	9
大山町	1	1	10	13	9	12
南部町	28	33	34	39	6	6
伯耆町	17	21	15	21	2	0
日南町	11	15	20	26	9	11
日野町	17	19	4	5	13	14
江府町	5	7	3	3	2	4
合計	631	919	646	856	15	63

【参考】近年の本県への移住状況

年度	上半期	下半期	年間
H27	909	1,043	1,952
H28	916	1,106	2,022
H29	933	1,194	2,127
H30	954	1,203	2,157
R1	984	1,185	2,169
R2	856	1,280	2,136
R3	919		

令和2年度末 本県出身大学生等の県内就職状況等について

令和3年12月1日
ふるさと人口政策課

令和3年3月に卒業した大学生等の県内就職状況について、県内・県外大学等に調査を行った結果、全国的に大都市部の雇用環境が悪化したこともあり、就職者に占める県内就職率は僅かに上昇しました。

今後も協定締結大学等と連携した取組や、「とりふる」を活用した情報発信、オンラインも活用した就職支援等を行うことにより学生の県内就職を促進していきます。

【結果概要】

- 1 県内大学等全体の県内就職率は29.3%（前年比0.4%上昇）
全国的に大都市部の有効求人倍率が低下したことが要因と考えられる。
- 2 県外大学等に進学した県内出身者の県内就職の状況
就職者に占める県内就職率は40.2%（前年比0.5%上昇）

1 県内大学等卒業生の県内就職の状況

- ・鳥取大学の県内就職率は16.5%（前年比0.7%上昇）
- ・公立鳥取環境大学は14.6%（前年比8.3%低下）

公立鳥取環境大学の分析としては、県外出身学生の地元志向の高まりや、オンライン面接導入による選択肢の多様化が主な要因と見ている。

	卒業生(A)			就職者(C)			
	(R3.3卒業)	うち県内出身(B)	比率(B/A)	(R3.3卒業)	うち県内就職(D)	うち県内出身	比率(D/C)
鳥取大学	1,408 (1,437)	208 (184)	14.8% (12.8%)	886 (970)	146 (153)	100	16.5% (15.8%)
公立鳥取環境大学	285 (248)	37 (36)	13.0% (14.5%)	246 (231)	36 (53)	21	14.6% (22.9%)
鳥取看護大学	89 (69)	73 (48)	82.0% (69.6%)	89 (64)	76 (55)	72	85.4% (85.9%)
鳥取短期大学	253 (268)	210 (240)	83.0% (89.6%)	226 (238)	186 (195)	177	82.3% (81.9%)
米子工業高等専門学校	210 (214)	182 (179)	86.7% (83.6%)	141 (129)	21 (15)	20	14.9% (11.6%)
合計	2,245 (2,236)	710 (687)	31.6% (30.7%)	1,588 (1,632)	465 (471)	390	29.3% (28.9%)

()内は前年数値。

2 県外大学等卒業生の県内就職の状況

本県出身者が多い大学（短期大学含む）に対する調査結果

卒業年月	有効回答数 (大学)	県内高校 出身者数 (A)	就職者数 (県内外含む) (B)	県内就職者数 (C)	就職者に占める県内就職率(C/B)		
					全体	男	女
R3.3	78校	1057人	835人	336人	40.2%	39.5%	40.9%
R2.3	65校	968人	816人	324人	39.7%	37.5%	42.1%
H31.3	60校	960人	793人	282人	35.6%	32.5%	38.6%

（調査対象（R3.3卒）：上位100大学及びその他協定締結校6校 計106校）

（調査対象（R2.3卒以前）：上位50大学、関東15大学、関西10大学及びその他協定締結校3校 計78校）

- ・地区別では、中四国及び九州47.5%、関西圏31.3%、関東中部圏34.6%
- ・協定別では、協定締結大学34.2%、その他の大学43.8%

関西圏、関東圏の大学は近県（中四国圏）の大学と比べ県内就職率が低い傾向にあるため、本県からの進学者の多い関西圏、関東圏の私立大学を中心に就職支援協定に係る取組を進めている。

<参考> KPI指標に採用しているUターン率について

県外大学卒業生のUターン率は31.8%（前年比1.7%低下）

Uターン率…県内高校出身で令和3年3月に県外大学を卒業した学生（進学等を含む）のうち、鳥取県内に就職した学生の割合。

令和3年度中山間地域等活性化・移住定住促進協議会の開催結果について

令和3年12月1日

中山間地域政策課・ふるさと人口政策課

令和3年度鳥取県中山間地域等活性化・移住定住促進協議会を開催し、中山間地域及びまちなか振興施策の実施状況等について以下のとおり報告及び審議を行いました。

委員からいただいた意見等を踏まえ、今後、必要な施策等について検討を進めていきます。

- 1 日時 令和3年11月1日(月)午前10時から午前11時40分まで
- 2 場所 オンライン開催
- 3 出席者 中山間地域等活性化・移住定住促進協議会委員、県関係部局長等
- 4 報告・協議事項 ・中山間地域振興施策の取組状況等について
・まちなか振興について
・移住定住の促進、関係人口の拡大について

5 委員からの主な意見

〔中山間地域振興・まちなか振興に関する意見等〕

- ・農業の担い手不足に加えて、中山間地域等直接支払制度等の農政関係事務を行う者の確保が課題であり、県・市町村で考えていただきたい。
- ・イベントを新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためオンラインで開催したいが、高齢者はスマートフォンの操作に慣れない方が多い。操作方法を学べる場が増えるといい。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの商談が増えて便利になったが、直接会わないと伝わらないものもあり、対面による商談の機会も必要である。
- ・地域での活動が多様化するなかで、活動に当たって金銭を授受する機会が増えている。任意団体が金銭を取り扱う上での税務処理や法律問題などについて教えてもらえる仕組みがあると助かる。
- ・SNSで情報発信する際、写真・文章の掲載作業が必要だが、写真好きの人に写真を撮ってもらう等、地域の方や学生などが副業・バイト感覚で協力できる仕組みがあると専門業者に頼むよりも安価で取り組みやすくなると思う。
- ・高校生がチーム単位でまちなかに出かけて、事業主に直接ヒアリングし、課題を抽出して事業計画を立てるビジネスプランニング授業は、大変よい取組だと思うので中山間地域を含めて他の学校でも実施してはどうか。
- ・コロナ禍を契機にインターネットラジオを開始して、地域での活動やその土地のことを記録する活動を始めた。今後も引き続き行っていきたいが、調査や記録の保存がしやすくなるとよい。
- ・デジタル技術の活用は、遠隔行政が実現することで転勤等に伴う住民票の異動手続等が便利になったり、病院まで出向くのが大変な高齢者を対象にした遠隔診療が実現することで定期健診の受診率の向上や病気が早期に発見されたりと、中山間地域の活性化等にもつながると考える。
- ・中山間地域振興行動指針には、「Society5.0に向けた技術の活用」の記載が少ないが、コロナ禍で急速に進展しているので、同行動指針にもっと盛り込んだ方がよい。
- ・特定地域づくり事業協同組合にSNS等のスキルを持った人を確保し、組合が関わる業界のSNSの活用に係るノウハウの不足を解消するような方法を考えてはどうか。

〔移住定住の促進、関係人口の拡大に関する意見等〕

- ・コロナ後の移住定住の新たな施策が必要ではないか。
- ・高校生が卒業後に県外に出ても、いつか戻ってくるような人口還流の仕組みを考えてはどうか。
- ・多くの市町村で農地取得時の下限面積の緩和を行っているが、一部市町で取り組んでいるように、空き家とセットにした下限面積の緩和を行い、移住者の方が使いやすいようにしてはどうか。

(参考)「中山間地域等活性化・移住定住促進協議会」の概要

中山間地域等の振興及び移住定住促進に関する事項を調査審議するために、鳥取県附属機関条例に基づき設置されている附属機関。(現委員任期：令和元年12月4日～令和3年12月3日)

〔会長〕 筒井 一伸(鳥取大学地域学部地域創造コース 教授)

〔委員〕 安藤 文江(倉吉市やしろ彩菜家経営) 入澤 由美(NPO 法人 YSS だいせん代表)
太田章太郎((有)太田酒造場代表取締役) 川上 幸恵(美用レディース代表)
小林 直哉(地域自主組織やらいや逢坂会長) 中村 彩((株)nido 代表)
藤井由美子((有)真栄農産専務) 宮原翔太郎(パーリー建築メンバー)
山崎 兼利((株)ドコモ CS 中国鳥取支店)

鳥取砂丘の観光振興、活性化及び保全における鳥取県と鳥取市との連携協約(案)について

令和3年12月1日
観光戦略課
緑豊かな自然課
子育て王国課

鳥取砂丘の観光振興、活性化及び保全における鳥取県と鳥取市との連携協約に向けた準備会を以下のとおり開催し、その協議結果を踏まえ、県では11月定例県議会、市では12月定例市議会に当該連携協約(案)を附議案として提案していますので、報告します。

1 連携協約の概要

鳥取県と鳥取市が連携して事務を処理することにより、鳥取砂丘の貴重な自然・景観を保全し、それを活用した鳥取砂丘全体の観光振興、活性化に向けて一体的かつ継続的に事業を実施することができるよう包括的な協約を締結する。

(1) 根拠法令 地方自治法第252条の2

地方公共団体が、他の地方公共団体と連携して事務を処理するに当たっての基本的方針及び役割分担を定める協約

(2) 目的・基本方針

鳥取県と鳥取市が連携して、以下の事務を処理する。

- ・鳥取砂丘の貴重な自然・景観を保全
- ・鳥取砂丘全体の観光振興、活性化に向けて一体的かつ継続的な事業実施

(3) 連携する内容

- ア 鳥取砂丘の観光振興の推進
- イ 鳥取砂丘の保全と利活用
- ウ 鳥取砂丘西側エリアにおける滞在環境の上質化の推進
- エ 鳥取砂丘の交通環境の整備
- オ 情報共有の推進

(4) 連携協約の発効 令和4年1月1日

附議案が可決された場合、知事と鳥取市長による連携協約の締結式を予定している。

2 準備会開催日等及び確認事項

(1) 準備会開催日等

ア 第1回準備会

開催日・場所 令和3年10月20日(水)・鳥取県庁特別会議室

出席者 県:副知事、交流人口拡大本部長、子育て・人財局長、生活環境部長、県土整備部長 ほか
市:副市長、経済観光部長、都市整備部長、副教育長 ほか

協議・報告事項

- ・鳥取砂丘の現状
- ・サウンディング型市場調査の結果及び柳茶屋キャンプ場、サイクリングターミナル、鳥取砂丘こどもの国キャンプ場の一体整備について
- ・鳥取砂丘の観光振興、活性化及び保全における鳥取県と鳥取市との連携協約(仮称)について(案)

イ 第2回準備会

開催日・場所 令和3年11月9日(火)・鳥取市役所会議室

出席者 県:副知事、交流人口拡大本部長、観光交流局長、子育て・人財局長、生活環境部長、
県土整備部次長 ほか

市:副市長、経済観光部長、都市整備部長、副教育長 ほか

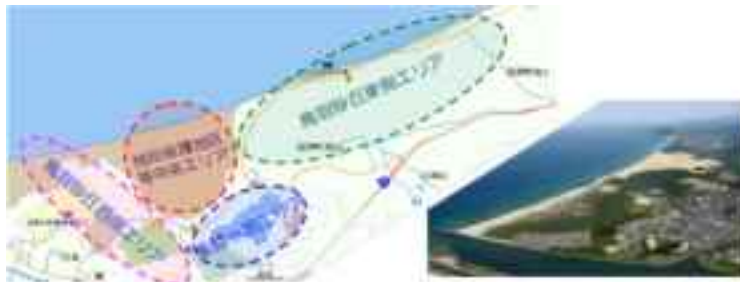
協議・報告事項

- ・鳥取砂丘の観光振興、活性化及び保全における鳥取県と鳥取市との連携協約(仮称)(案)
- ・柳茶屋キャンプ場、サイクリングターミナル、鳥取砂丘こどもの国キャンプ場の一体整備に係る検討状況について

(2) 確認及び合意事項

ア 鳥取砂丘の範囲

鳥取砂丘グランドデザインで示されている4つのエリアを包括したところを対象とすることで合意した。



イ 連携協約案の内容について確認を行い、県、市の定例議会に附議案を提案することで合意した。

ウ 柳茶屋キャンプ場、サイクリングターミナル、鳥取砂丘こどもの国キャンプ場の一体整備について以下の方針で検討を進めることを共有した。

○基本的な考え方

3施設(柳茶屋キャンプ場、サイクリングターミナル、鳥取砂丘こどもの国キャンプ場)を一体的に利活用・管理し、行うキャンプ場を中心としたサービスを民間事業として実施する提案を募集する。

○募集条件等

- ・こどもの国キャンプ場は、こどもの国本体とは切り離れた上で、3施設とも公の施設としての廃止手続きを行い、民間事業として管理する。
- ・土地、建物ともに事業者への無償貸付とする。
ただし、利益に見合う納付金を事業者からの提案で受けることとし、審査の評価ポイントとする。
- ・事業期間は、10～20年(事業者が提案しやすいよう長期を設定)とする。

○施設の整備・活用について

施設の整備に向けて
砂丘西側の滞在型環境上質化のため、行政側で整備方針を決定・整備するもの ・市道から両キャンプ場へのアクセス道路の拡幅等 各事業者が描くキャンプ場のイメージに沿うよう、事業者からの提案をもとに整備するもの ・こどもの国本体とキャンプ場の境界整備 ・柳茶屋キャンプ場内から西側ビジターセンター方向へ抜ける遊歩道の整備 事業者選考にあたっての提案項目に盛り込み、事業者から提案いただくことを想定
利活用にあたって
現在の各3施設の利用者(青少年・子ども・市民等)の今後の利用にも配慮した施設となるよう、青少年・子ども等の利用に関する配慮を事業者からの提案項目へ盛り込む。

スケジュール(予定)

令和4年2月 事業者募集開始

令和5年4月 新施設オープン

鳥取砂丘西側エリア整備イメージ



鳥取県ポストコロナを見据えた観光振興推進プロジェクトチーム会議の開催結果について

令和3年12月1日
観 光 戦 略 課

ポストコロナの観光振興施策について部局横断的な検討を行うため「鳥取県ポストコロナを見据えた観光振興推進プロジェクトチーム」(以下「PT」という。)を設置することとし、第1回会議を開催しましたので報告します。

1 PT設置趣旨

長期にわたる新型コロナウイルス感染症の影響により深刻なダメージを受けた観光業界の事業継続をいかに支えていくのか、今後の本県の観光需要回復策をどのように展開していくのかなど、ポストコロナを見据えた観光振興施策の検討を行うため。

<主な検討課題>

- ・観光需要喚起策
- ・観光関連企業の事業継続に向けた支援
- ・観光関連企業における感染防止対策の推進

2 第1回会議の開催結果

(1) 日 時 令和3年11月22日(月)午前10時から10時50分まで

(2) 場 所 第4応接室(県庁本庁舎3階)

(3) 出席者

チーム長(亀井副知事) 副チーム長(中原交流人口拡大本部長)

構成員(生活環境部 遠藤くらしの安心局長、商工労働部 遠藤経済産業振興監、農林水産部 岸田市場開拓局長、交流人口拡大本部 瀨本観光交流局副局長)

(4) 概 要

ア PTでは、短期の視点と長期の視点の2つの視点をもって今後の観光を検討する。

<短期的な視点> 国の経済対策を活かして今年度、来年度に向けて県内の観光振興にいかにつなげていくか。

<長期的な視点> 来年度以降、将来的な新しい鳥取県の観光の形をどのように描くのか。

イ PTの目標を「令和4年には、新型コロナ感染症前(令和元年並み)の観光入込客と宿泊者数に復活させる」と定めた。コロナ後は、以前より少人数の旅行形態が増えることが予想されることから、少人数に対応した観光の視点にも留意する。

ウ 庁内横断で検討するとともに、民間事業者の意見をよく聞いて検討を進める。

<民間意見の取り入れ方>

- ・必要に応じて、旅館組合、観光施設連絡協議会、アクティビティ協会、旅行会社などから個別に意見を聴取
- ・サウナやキャンプなど専門的な知識を必要とする課題については、専門家(民間)を含めたワーキンググループを設置。
- ・PTでまとめた対策案については、官民からなる「観光・宿泊事業等に関する新型コロナ対策連携協議会」に報告し、意見を聴取。

エ PTの役割として、民間意見を取り入れながらポストコロナの観光需要回復に向けた対策案をまとめ、令和4年度当初予算(政策戦略事業)に反映させるとともに、今後の観光施策に活かす。また、対策案はSDGs(持続可能な開発目標)が掲げる「2030年までに達成すべき17のゴール」に関連付ける。

《参考：今後のスケジュール》

- ・12月～ 民間意見を聴取しつつ各部局で対策案について検討、専門知識を必要とする課題についてはワーキンググループを設置して検討
- ・12月上中旬 PT開催(2回目)：民間意見とりまとめ、対策案の作成方針
- ・12月中旬～ 対策案のとりまとめ
- ・1月上旬 第2回観光・宿泊事業等に関する新型コロナ対策連携協議会開催
令和4年度当初予算(政策戦略事業)に反映

「ととのう とっとり サウナ旅」の推進について

令和3年12月1日
国際観光誘客課

コロナ禍で健康志向が高まる中、サウナに関心を寄せる方が増えており、アウトドアブームと相まって自然の中でのサウナの人気が高まっています。

サウナブームの好機を逃すことなく、サウナを活用した誘客を図るため、「ととのう とっとり サウナ旅」の推進に取り組みます。

1 取組内容

(1) 五塔熱子氏への「とっとりサウナCEA」任命(11月5日任命)

熱波師で琴浦町地域おこし協力隊として活躍している五塔熱子氏を「ととのう とっとり サウナ旅」を推進する広告塔として、熱波師の語句を含む称号である「とっとりサウナCEA(Chief Executive Aufgusser、最高経営アウフギーサー(アウフギーサーは熱波師の独語))」に任命した。

【五塔熱子(ごとうねつこ)氏のプロフィール】

- ・今年5月に神奈川県から移住し、琴浦町地域おこし協力隊として活動
- ・一向平キャンプ場ネイチャーサウナ所属
- ・日本サウナ熱波アウフグース協会認定のプロ熱波師で、日本を代表する女性熱波師



とっとりサウナCEA任命式の様子

(2) 県公式サウナ専門サイト(HP、SNS)の開設(11月9日開設)

自然豊かな鳥取県のサウナで心身がととのうイメージを演出しながら、県内温泉地やサウナの特徴や楽しみ方、周遊モデルルート、イベント情報等を発信するホームページ・SNS「ととのう とっとり」を開設した。



ととのう とっとり HPの掲載写真等

2 今後の主な取組予定

- ・「ととのうとっとりサウナ旅」のモデルコースの造成
- ・県内のサウナの魅力を全国に発信するサウナシンポジウムの開催等

海外向け情報発信の最近の主な取組について

令和3年12月1日
国際観光誘客課

将来的なインバウンドの復調を見据え、本県へのリピーターや新たな鳥取ファン獲得のため多様な方法で実施している海外向け情報発信の最近の主な取組について報告します。

1 エアソウルと連携したソウル市内のカフェでの鳥取県観光プロモーションの実施

11月16日から約6か月間、韓国ソウル市内中心地に展開するコーヒーチェーン店の一角に、エアソウルの機内を再現したPRスペースを開設し、エアソウル就航地(米子、高松、グアム等)の観光情報をPR中。

(1) プロモーション内容

常時、鳥取県観光PR動画放映や観光パンフレットを配架するとともに、今後、月1回開催されるイベント「エアソウルデイ」において、プレゼントキャンペーンを実施予定。

(2) 来場者のコメント

「飛行機に乗っている感じがして楽しかった」「早く鳥取に行きたくなった」など



カフェ内のエアソウル PR スペース

2 香港都会大学と連携したオンライン和傘製作体験の開催

11月10日に香港都会大学と連携して、今年で誕生200年を迎えた淀江傘をテーマとした、オンライン和傘製作体験を開催した。

(1) 主な内容

- ・事前に香港に送付した和傘製作体験キット(ランプスタンド)を使用し、香港側と和傘伝承館をオンラインで繋ぎ、淀江傘伝承の会の山本絵美子会長の指導により製作体験を実施。
- ・和傘伝承館をライブ中継で紹介したほか、大山の大献灯や鳥取しゃんしゃん祭り、あおや和紙工房など、和傘や和紙に関する本県の観光情報についてスライドや動画を交えながら紹介。
- ・香港都会大学の学生、香港在住メディア・インフルエンサー16名参加

(2) 参加者のコメント

「鳥取県の伝統文化を学ぶことができよかった」「コロナ収束後に実際に鳥取県に行ってみよう」など



オンライン和傘製作体験の様子

3 中国市場向け SNS を通じた LIVE 配信の実施

本県の知名度向上を図るとともに県内企業の商品を広くPRするため、11月3日から5日に中国最大のコミュニケーションアプリ WeChat(ウィーチャット)のLIVE配信サイトで、本県観光地と中国向け越境ECサイト(インターネット通販サイトを通じた国際的な電子商取引)でテスト販売を行っている県内商品等を紹介した。

(1) 主な紹介内容

2泊3日でLIVE配信の専任スタッフが来県し、白兎海岸や鳥取砂丘、とっとり花回廊等の観光地のほか、三朝温泉ジェル・石けん、北条ワインなどの人気商品約20コンテンツを紹介。

(2) 視聴者のコメント

「海が見える大山のスキー場は魅力的」「ピンクのカレーを初めてみた。食べてみたい」など



4 鳥取応援団及び鳥取・台湾ファンクラブ結団式の開催

鳥取県と台湾の相互交流の更なる発展と知名度向上による将来的な航空路線の定期便化を目指し、台湾にゆかりのある者で構成する鳥取・台湾ファンクラブ、鳥取県を応援する台湾の旅行社で構成する鳥取応援団及び県で合同の結団式を10月18日にオンラインで開催した。

(1) 各団体概要

鳥取応援団

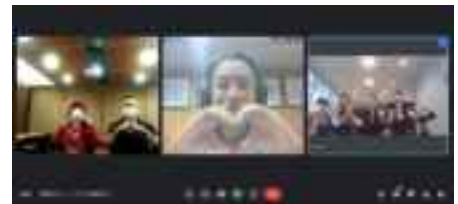
鳥取が好きなど鳥取県とつながりのある台湾旅行社13社で組織する鳥取応援団。代表は鳥取県へ多くの台湾観光客を送客いただいている鳳凰旅行社の張(ツァン) 董事長。

鳥取・台湾ファンクラブ

鳥取県と台湾の交流に関心のある方や好きな方で構成するファンクラブ。代表は藤縄・日台親善協会会長、台湾現地代表は大山町出身でベンチャー・リンク台湾の坂端(さかばた) 総経理。

(2) 今後の展開

会員の親睦と相互交流、鳥取県の魅力情報発信など



結団式の様子

5 日本在住フランス人モニターツアーの実施

新型コロナ収束後の本県への旅行商品造成や本県観光地等の情報発信をしていただくため、ヨーロッパ市場向けの旅行商品造成や販売を行っている(株)ミキ・ツーリストと連携して、11月12日~14日に日本在住フランス人5名による本県へのモニターツアーを実施した。

(1) 訪問先・体験

三徳山三佛寺投入堂、三朝温泉、倉吉白壁土蔵群、鳥取砂丘、砂の美術館、八東ふるさとの森(テントサウナ体験、ジビエ料理) 等

(2) 参加者のコメント

「鳥取は、自然が豊かで田舎の魅力がたくさんある」「また鳥取県に遊びに来たい。移住したいほどだ」など



三徳山登山の様子

第25回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの参加結果について

令和3年12月1日
交流推進課

10月15日(金)に韓国江原道主催でオンラインにより開催された「第25回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」の結果は以下のとおりです。

【サミット本会議の概要】

- 1 日時 10月15日(金)午前10時から11時30分まで
- 2 参加場所 呉阪急ホテル 5階「桜の間」(広島県呉市中央1丁目1-1)
- 3 テーマ 北東アジア地方政府における平和と繁栄に向けての協力
～アフターコロナ時代を見据えた港湾・空港・鉄道 複合的な交通ネットワークの構築について～
- 4 参加者 韓国江原道知事 崔 文洵(チェ・ムンソン)
中国吉林省長 韓 俊(ハン・ジュン)
日本国鳥取県知事 平井 伸治
ロシア沿海地方第一副知事 シェルビナ・ヴェーラ
モンゴル中央副知事 ツェデヴスレン・ブマンブヤン
- 5 主催者 韓国江原道
- 6 開催方法 オンライン開催(Zoom)

7 鳥取県の提案

テーマであるアフターコロナ時代を見据えた複合的な交通ネットワークの構築について、各地域から交流協力の強化及び経済交流や貿易の促進に向け様々な提案が行われた。平井知事が、北東アジア地域の発展に寄与してきた交通ネットワークの早期再開の重要性を踏まえ、次の提案を行った。

国際的な往来が可能になったら、往来を伴う経済・環境・文化・スポーツ・観光など様々な分野における交流の早期再開に向けて協力すべきであること。

アフターコロナ時代の交流再開の好機として、スポーツ交流を含む観光客誘客による地域活性化を図っていくこと。

サミットが端緒となり就航した、境港・東海港・ウラジオストク港を結ぶ定期貨客船航路の再開に向けて、各地域の協力が必要であること。

崔文洵江原道知事からは、当該航路による往来再開に期待感が示された。

新型コロナウイルス感染症に力を合わせて打ち勝ち、アフターコロナ時代における人流・物流を再び活発にし、北東アジア地域のさらなる発展にむけて、これまで築いてきた交通ネットワークの早期再開並びに新たな交通ネットワークの構築に向けて協力していくこと。

8 合意結果

この地方政府サミットにおける地域間の友好交流の促進及び発展に向けた協力を通じて成し遂げた様々な成果を高く評価し、今後もこの取組を維持・発展させ、北東アジア地域の平和と繁栄に寄与していくことで合意。

「新型コロナウイルス感染症」の早期克服のための相互協力の継続と、国際的な往来が可能になった際には、早急に交流を再開し、経済・環境・文化・スポーツ・観光などの様々な分野において民間を含む二地域・多地域間の交流協力を活発に進めていくことで合意。

鳥取県を含む各地域で開催される様々なイベントに対して、積極的に協力しながら支援を行うことで合意。

次回サミットの開催地域が中国吉林省に決定。



「鳥取砂丘コナン空港への怪盗キッドカラーオブジェ設置」、「ゲゲゲ忌2021での鳥取県PR」及び「谷口ジロー原画展の開催」について報告します。

1 鳥取砂丘コナン空港への「怪盗キッド」カラーオブジェ設置

鳥取砂丘コナン空港の魅力向上を図るため、作中で人気のキャラクター「怪盗キッド」のカラーオブジェを設置しました。

- (1) 設置期日 令和3年11月17日(水)
- (2) 設置場所 鳥取砂丘コナン空港 国内線到着ロビー風除室の上部
- (3) 設置内容 ・「砂丘風装飾」を施し、「怪盗キッドが砂丘に舞い降りた」ように演出している。(怪盗キッドは作中で大空を自由に飛行するキャラクターとして描かれている。)
・吹抜け部分のため、観光客が怪盗キッドの姿を1階からも2階からも自由に観覧し記念撮影することができる。
- (4) その他 国内線搭乗橋付近にコナンイラストを用いた「誘導サイン」を新たに設置した。



2 ゲゲゲ忌2021での鳥取県PR

水木しげる氏の命日を中心に開催された「ゲゲゲ忌2021」(主催：東京都調布市)において、劇場でのアニメ上映会や駅前広場でのステージイベント等により本県をPRしました。

(1) アニメ上映会「ゲゲゲの鬼太郎第5期第6期Wねこ娘×鳥取県スペシャルコラボデー」の開催

- ア 開催日時 令和3年11月23日(火・祝)午後6時から8時まで
- イ 開催場所 イオンシネマ シアタス調布(東京都調布市)
- ウ 開催内容 ・鳥取県を舞台にしたアニメ放送回の上映
・ねこ娘役声優(本県への来県経験あり)や水木しげる記念館アドバイザーによるスペシャルトーク
・鳥取県平井知事によるPR動画の放映



(2) 本県PRステージイベント等の実施

- ア 実施日時 令和3年11月20日(土)及び21日(日)午前11時から午後4時まで
- イ 実施場所 調布駅前広場(東京都調布市)
- ウ 実施内容 ・妖怪着ぐるみと水木しげる記念館アドバイザーによる本県PRステージイベント
・本県PRブースにおいて観光PRを行うとともに、境港市と連携しカニ汁を、鳥取県物産協会と連携し特産品を販売

3 谷口ジロー原画展の開催

鳥取県出身の漫画家・谷口ジロー氏の業績を称えるとともに、同氏の原画の魅力を県内外の方々に広く周知するため、原画展を開催しています。

- (1) 催事名称 「彩り、描く 谷口ジローの世界3」
- (2) 開催期間 令和3年11月27日(土)～12月26日(日)(水曜休廊)
- (3) 開催場所 ギャラリー鳥たちのいえ(鳥取市本町)
- (4) 展示内容 ・修業時代から晩年までのカラー作品の原画を展示している。
・アクリル絵具、グワッシュ、透明水彩を駆使した彩りゆたかな原画を約30点ご覧いただくことができる。
- (5) 観覧料 無料
- (6) 谷口ジロー作品の展示
来場者が谷口ジロー作品に触れていただけるよう、ギャラリーの2階に谷口ジロー作品の展示スペースを設けている。(閲覧可)



倉吉東郷自転車道関係者合同走行会の開催結果について

令和3年12月1日
中部総合事務所県民福祉局

県中部には昭和62年度に供用開始された「県道倉吉東郷自転車道線」(起点：倉吉市石塚から終点：湯梨浜町長和田の24.3km)があり、鳥取うみなみロードの一部として利用されているほか、中部の観光施設等へ通じる枝線としての活用が期待されています。このことから、関係機関・団体等と連携した同自転車道の合同走行会を開催し、必要な環境整備等について意見交換等を行いましたので報告します。

1 開催日時・行程

令和3年10月8日(金) 午前10時～午後3時30分

出発地：せきがね湯命館(倉吉市関金町)～到着地：燕趙園(湯梨浜町引地)までの約31.7km
(うち倉吉東郷自転車道24.3km)

2 参加者 以下の関係機関から計19名が参加し、3班に分けてグループ走行を実施した。

民間関係	NPO 法人未来、NPO 法人養生の郷、関金温泉振興組合、倉吉観光 MICE 協会、湯梨浜町観光協会、はわい温泉・東郷温泉旅館組合、鳥取県観光事業団(燕趙園)、三朝温泉観光協会、中部商工会産業支援センター、地元サイクリスト
市町関係	倉吉市、湯梨浜町
県関係	観光戦略課、緑豊かな自然課、西部総合事務所、中部県土整備局、中部県民福祉局

3 参加者の感想・意見等

- ・走りやすく、田園風景、桜並木、河川から海岸、湖畔へと風景の変化が楽しめるコースだった。
- ・コースがあまり知られておらず、PR(マップ作成、PR動画発信、イベント開催等)が必要である。
- ・路面標示や案内看板が少なく、ルートが分かりにくい。また、路面の一部修繕が必要な箇所がある。
- ・コース周辺の見どころや施設等の案内を行い、観光スポット等との連携を図ることが求められる。
- ・サイクルカフェ等サイクリストが利用できる施設、レンタサイクルの充実など受入環境の整備が必要である。

4 今後の取組

- ・沿道でのサイクルカフェ、サイクリストに優しい宿等の登録を進め、サイクリング受入環境の充実を図る。
- ・マップ作成やイベント開催等による利用促進及び自転車道の補修や案内標示の充実等を検討する。

